

BESIGN The Sustainable Design School

交換留学 月例報告書 (10 月分)

BESIGN The Sustainable Design School

田中真斗

目覚めてから、コーヒーを入れて体を温める朝が続き、まだ夏のバカンス気分を引きずっていたニースも秋らしくなってきました。朝夜の冷え込みと乾燥した空気は、喉風邪を誘う悪魔です。日本から持ってきたポータブル加湿器とのおど飴で身を守る日々です。日本の湿度が恋しくなる日が来るなんて！

日々の健康のために食事にも気を配る必要があります。(海外で病気になると色々と大変なので！) 私は毎日毎食自炊をしているので、近所のスーパーではもう常連客です。フランスは野菜が美味しくて安いので助かっています。お肉もしっかり摂りたいところですが、ステーキより大きなブロック肉ばかりで、日本でよく買っていた便利な薄切りタイプのお肉が一切ないので少し困ります (ハムはいくらでもありますが、、、)

【フランスの食事】

さて、このまま食事の話題に行きます。

フランスといえばフランスパン。バゲットですね。早く起きた朝は、近くのパン屋さんによく行きます。道中ではバゲットを抱えて家に帰る人がちらほら。細長く抱えやすいバゲットが愛される理由の一つかも？なんて思いながらパン屋さんの扉を開けます。

Bonjour! と声をかけてから入るのがマナーです。挨拶の後にバゲットを注文して会計を終えるまでフランス語でお店の人と会話をします。(パン屋で使える会話集をネットで見ながらパン屋に向かえばバッチリです)

「焼きたてのぬくもりを手に感じながら、焼き目の付いた外皮を噛み締めるたびに、パリパリっと軽快でごく細やかな食感が耳にまで伝わる。何度噛んでも鳴りやまない気持ちのいい音。この初めての食感は何と形容すればいいのかわからないけど、バゲットの食感として僕の食感辞書に登録された。パンを割って鼻を寄せると、小麦の香ばしい香りに脳内を一瞬で染められ、見たこともない小麦の袋詰め風景が浮かび、笑ってしまった。素晴らしきパン文化。・・・」(感動しすぎてメモに書き込んだ内容より抜粋)

日本食は美味しくて恋しくて堪りませんが、フランスの食事は日本食とは違った「美味しい」、「美味しさの感じ方」があります。パン屋さんの1ユーロのバゲットでもここまで感動できます。ほかにもチーズや野菜、フルーツなど食事に関する感動の日々を伝えたいのですが、この辺で。



食べかけの
バゲットトラディション

【授業について】

BESIGN では日本の大学のように1日に90分×5コマで選択した授業を受けるスタイルではなく、基本的に1日に1つの授業を朝から夕方まで受けます。日本でいう集中講義のように2日間連続で開講される短期凝縮型の授業があったり、毎週受ける授業があったり、割とバラバラです。

また開講される授業は学年ごとに決まっており、私が在籍している4年生が受ける授業もあらかじめ決められています。日本のように履修登録をして、、、という感じではなく、大学の Outlook のカレンダー機能に授業名や、教室の場所などを学校側が追加するので、それを毎週確認するといった感じです。毎週ほぼ違う授業が開講されるので、「今週はこんな授業があるのか!」、「今日の授業、次は2週間後だから課題じっくり取り組める!」という日本とは違うスタンスで授業を受けています。

学年ごとに受ける授業が決まっていますが、希望があれば別の学年の授業をとることもできるようです。担当の先生に理由を説明して、理にかなっていると判断されれば、授業を追加したり、不要な授業を減らしたりできるので、割と自由な学習計画を自分で作ることも可能かもしれません。

フランス人の友人達はたびたび学校の先生や講師に対して、少しの遠慮もなく交渉（時には抗議）をしています。自分の学習環境をより良くしようとする姿を見て、日本と真逆のフランスの個人主義文化を感じる日々です!

【デザイン科目】

ほぼ毎週受けている Design Future, Trends and Innovations という授業があります。ビジネス寄りの観点で、数年後、数十年後の未来に展開されるトレンドや技術革新などを調査し、ブランディング計画や経営デザインを考えるという内容です。会社の経営理念、目指すゴール、顧客の特徴、社会との関係性など幅広い視点を持ちながら、それらの関係性を整理して、未来を考えるととても面白い授業です。ビジネススクール的な内容なので、頭を抱えて悩むことも多くありますが、BESIGN ならではの授業でやりがいがあります。

ちなみに BESIGN の4年生 (MASTER 1) のカリキュラムは、前期期間に理論を学び、後期に個人制作に集中するといった感じなので、今のところ手を動かして何かを制作するといったことはしていません。制作欲求が日々高まります。



↑ 議論が多い日々